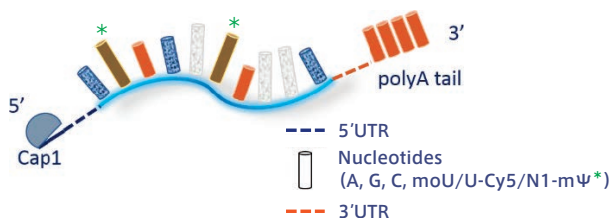




NEW トランスフェクション効率確認用の ポジティブコントロール レポーター遺伝子をコードした mRNA

一般的なレポータータンパク質を発現させるための mRNA です。mRNA トランスフェクション効率を確認する際のポジティブコントロールとして有用です。



Cap1 構造：mRNA を分解から保護

moU：ウリジンを 5-methoxyuridine に置換することで自然免疫応答を低減

N1-mψ：ウリジンを N¹-methyl-pseudouridine に置換することで自然免疫応答を低減

poly A tail：翻訳効率と mRNA の安定性を向上

- 3' 末端に poly A tail を有する修飾 mRNA です。
- 哺乳動物細胞系に最適化されており、高い安定性と非免疫原性を示します。
- mRNA 導入は遺伝子挿入を引き起こさず、一過性トランスフェクションが可能です。特に分裂の遅い細胞に適しています。

保存条件：-80℃ [メーカー：OZB]

レポーター遺伝子	修飾	商品コード	包装	価格(¥)
GFP	moU	MRNA11-20	20 µg	51,000
		MRNA11-100	100 µg	127,000
	moU, Cy5	MRNA11c-100 NEW	100 µg	260,000
		N1-mψ	MRNA22-20 NEW	20 µg
MRNA22-100 NEW	100 µg		135,000	
F-Luc	moU	MRNA12-20	20 µg	51,000
		MRNA12-100	100 µg	119,000
	moU, Cy5	MRNA12c-100 NEW	100 µg	253,000
		N1-mψ	MRNA24-20 NEW	20 µg
MRNA24-100 NEW	100 µg		128,000	
R-Luc	moU	MRNA21-20 NEW	20 µg	51,000
		MRNA21-100 NEW	100 µg	119,000
mCherry	moU	MRNA13-20	20 µg	51,000
		MRNA13-100	100 µg	119,000
Tomato	moU	MRNA10-20	20 µg	51,000
		MRNA10-100	100 µg	119,000
β-Gal	moU	MRNA14-20	20 µg	51,000
		MRNA14-100	100 µg	127,000

※上記以外の包装や非修飾 mRNA のラインナップもあります。詳細はフナコシ Web をご覧下さい。



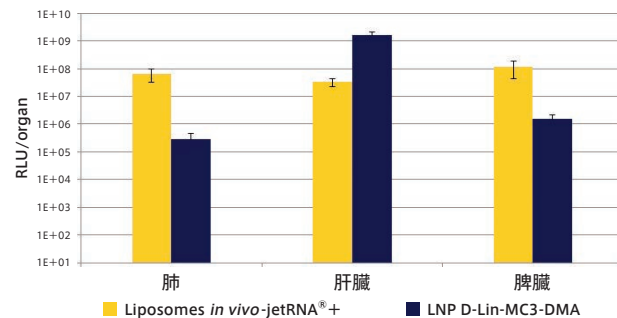
NEW in vivo 専用 mRNA トランスフェクション試薬 in vivo-jetRNA®+

様々な導入方法、標的器官に対応した in vivo 導入専用の mRNA トランスフェクション試薬です。

特長

- 毒性が低く、実験動物の健康を害しません。
- 静脈、腹腔内など様々な導入方法、標的器官で使用できます。
- 試薬と RNA を 1 : 2 で混合して使用します。
- LNP (脂質ナノ粒子) を用いる場合のような、複雑な条件設定や調製に必要な装置などは不要です。
- 本製品 1 ml あたり、マウスへの静脈内注射 50 回、筋肉内注射 100 回が行えます。
- 免疫応答誘発、抗腫瘍研究、タンパク質製剤の補給などに有用です。

使用例



本製品または D-Lin-MC3-DMA による mRNA カプセル化の比較

本製品または D-Lin-MC3-DMA (pH 応答性カチオン性脂質、LNP を形成) を用いて、ルシフェラーゼをコードする mRNA をマウスへ静脈注射した。本製品では 10 µg の mRNA を使い、mRNA buffer 中で mRNA/本製品の比率が 1 : 2 となるようにリボソームを形成させた。注射から 24 時間後にルシフェラーゼの発現を確認したところ、本製品を使用した条件は、ワクチン用のゴールドスタンダードとして使用されている LNP に匹敵する効率でルシフェラーゼの発現が観察された。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
in vivo-jetRNA®+ NEW			
PPU		101000122	1 kit / 290,000
キット内容：in vivo-jetRNA®+ reagent, mRNA buffer			

こちらもおススメ

トランスフェクション試薬選択ガイド

ターゲットとなる細胞や導入分子、目的などから選択いただけます。

